

「課題名：咽頭腫瘍に対する内視鏡的治療の治療成績の検討」について

○ 研究の意義・目的

咽頭腫瘍に対する内視鏡的治療についての有用性は報告されていますが、咽頭領域は解剖が複雑であるため、部位毎での治療成績や、ELPS（内視鏡的咽喉頭手術）とESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）の比較など、いまだに明らかでない部分も多いため、この研究を計画しました。

○ 研究対象者

2014年1月1日から2021年9月30日までに、広島大学病院で咽頭腫瘍に対して内視鏡的治療を受けられた患者さんを対象とします。

○ 研究方法

本研究は、全て診療録（カルテ）情報を転記して行います。

カルテから転記する内容は性別、年齢、内視鏡所見、病理組織所見と臨床経過です。

（個人が特定出来る情報は転記しません）

○ 試料・情報の管理責任者

広島大学病院内視鏡診療科 教授 田中 信治

○ 研究期間 2021年11月15日（委員会承認後）～2025年12月31日

○ 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。

* 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。

.....

お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5955

広島大学病院内視鏡診療科 教授 田中 信治 (研究責任者)

診療講師 卜部 祐司 (担当者)